

新潟県

公民館月報

昭和60年1月号

発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【電話・新潟 (0252) 24-6073】【振替新潟0-4049】

発行人 会長 石井 耕一
編集人 事務局長 本田 清
【定価1部 100円 年共 1,200円】



た は る

囲炉裏の生活は現在ほとんど無くなっている。昔はこの家にも囲炉裏があり自在カギがあり、鉄ピンが掛けてあったものである。自在カギに何も掛かっていないということがなかった。

先日、近くの囲炉裏のある家にお邪魔した。当然、その話、囲炉裏を囲んでの思い出話である。

話の始まる前の当家の主人の身のこなし方、実に堂に入ったものであった。炉縁に対し、あぐらをかき、猫背で、自在を拝むようにその目は鉄ピンに……自然とそのようになる。

囲炉裏は三度の飯の準備にも欠かせないものであった。飯を作るにも、みそ汁を作るにも、炉縁の上にマナ板を置き、菜葉を、大根をその場で切り、鍋に入れたものだそう。

食事が終るとそこでお茶を呑む。家族の団らんもある。赤ん坊のために母親が胸を開く場面も当り前のことだった。

(絵と文)

見附美術協会 池山阿有

公民館予算獲得へ氣勢

草柳大蔵氏東西文化の融合を説く

第33回 公民館振興大会

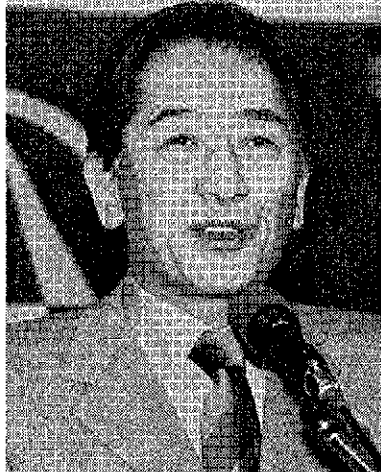


第33回全国公民館振興大会が十一月二十九日、東京の赤坂プリンスホテルで開かれた。全国から参加した市町村長、教育長、館長など関係者八百余名、本県からは受賞者七名、町村長二十一名、同助役、社会教育課長、館長など八名、合わせて三十七名が参加した。

開会のごときは、会連副会長を」とするもので、祝辞を兼ね、公振連理事の石井耕一氏(本会長谷川峻、原田煇、藤井勝志、奥会長)が述べ、主催者あいさつは野誠亮(元文相)、海部俊樹(元横山正新会長と公振連会長服部文相)、森喜朗氏(前文相)など級氏(輝津市長)が述べた。

公民館振興国会議員懇談会の面々大会スローガンは、「生涯教育が、激励のあいさつを述べた。

表彰式は、会連特別功労者三ミニテイツク裏の拠点公民館、社教法施行35周年記念功労者館の振興を「60年度公民館補助四十三名、優良公民館職員四十二千算七十七億八千五百円の実現名、水産動植物職員百五十三名に對



(草柳大蔵講師)



(森 前 文 相)



(海 部 元 文 相)



(長谷川元宥相)

して、それぞれ横山会長より表彰かし、長期復旧の予想に反して三うことも感じないわけではない。状と記念品が手渡された。本県が日修に開通し全国からのお見舞のらば、功労者として野昭氏(新潟)電話をいただいた。この回線の復由石山地区公民館長、優良職員に 旧には、多くの若者たちが地下に平野利夫氏(加冷村中) 水年 もり、九万本の回線を一本一本に勤続職員に山崎弥作氏(身板町) つないでくれたからである。この民館分館長) 坂下清亮氏(粟島浦 姿がある限り日本は力強い。一方に公民館長) 北村秀成氏(糸魚川市 豊近の西ドイツを見たと保守する小津公民館主) 五十嵐一郎氏 力が欠けており、たくさんの公衆電話が故障しっぱなしである。人(京分瀬村公民館)の七名の皆さびとは、ままならない世界に自分ん(前県公連職員)の七名の皆さびを奪うたいと願望し「競争したくこのあと、評論家の草柳大蔵氏 ない」という心情のようだ。今日が、「日本を育てる事業」と題し における西ドイツ経済の沈滞は投て講演。草柳氏は、まず「私は世 済回復にあると思う。しかし、日田谷に任んでいるので、先般の電 本でも、いつかそうならないとは話回線火災の被害者となった。し 限らず「あすはわが身かな」とい

公民館は、放送大学などとも今日に生涯教育の場として大切である。学習することによって生きがいを受けていくものを出出すことができるからだ。

今日の文明はあやしい。キリスト教文明でいくと非寛容で破壊する。インド文明や東洋文明の寛容の原理を養わなければならない。日本人はその特性をもって「ものあわれ」を知るといふ伝統、われわれが作った生産系で生きて、生かされているという哲学。このすばらしい文化情懷は公民館でもとり上げていく必要があると思う。」と結び大きな感銘を与えた。

終わりに、公振連副会長尾高晋氏(奈良県新庄町長)が別稿のような宣言・決意を読み上げ、満場一致で採択された。



生涯教育システム
生涯教育システム
生涯教育システム
生涯教育システム
生涯教育システム
生涯教育システム
生涯教育システム
生涯教育システム
生涯教育システム
生涯教育システム

公民館事業に人が集まらないと
き。何故であろう。本「」そ
うなのだろうか。こんな疑問を
持つことが数年間にわたりか
かわった調査結果



「これからの公民館像」

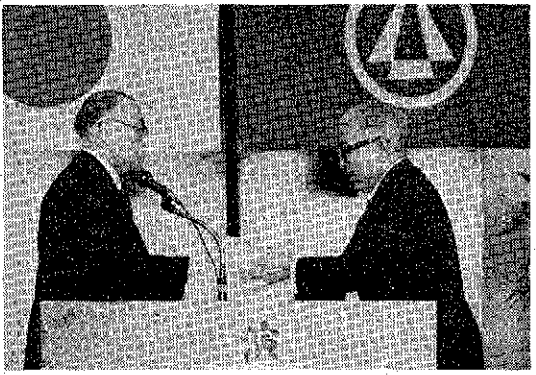
吉川 弘

調査みると、日頃学習してい
る形態や方法では「公的機関が
主権する学校・講座・教室等」
が四三・六％で一位である。希
望する学習の形態や方法をま
も「グループ・サークル学習」
(四六・三％)「学校・講座・
教室等」(四二・八％)が他を
る。

い割合を占めている。職業関
するものは学校や企業、芸術
・芸能・趣味に関するものは個
人教授所に、体育・スポーツに
関するものは職場・学校のグル
ープ・サークル活動に期待され
ている。公民館は、この教養及
び家庭・日常生活に関する学習
への期待に応えるよう事業を設
定する必要がある。

公民館で作成した資料や
文芸作品集または館報など
を応募してください。ま
か、県内の皆さんへも紹介
してまいりますと思いま
す。

この記念講演で先生は「生涯
教育」大切なのは、ただ学
びだけでなく、それを地域づ
くりにつなぐことが大切な
ことだ。



田村前会長へ横山新会長から感謝状

宣言

公民館が、生涯教育を推進する中核的社会教育機関であることは周知の事実である。
今日、市町村の健全な発達のための、コミュニティーづくりは、公民館に課せられた重要課題である。また青少年非行問題や、高齢化社会の到来によって、ますます公民館に寄せられる期待は増大しつつある。
このような事態に直面し、われわれ公民館関係者は決意を一層新たにして、活発な社会教育活動を展開しようとするものであるが、現実公民館をめぐる諸情勢は必ずしも整えられていない。
ここに社会教育法施行35周年を記念して第33回全国公民館振興大会を開催し、公民館がより一層活発な活動を実践するために必要な措置が、一刻も速やかに講ぜられるよう大会参加者の総意を以て関係方面へ強く要望するものである。
右 宣言する。

決議

- われわれは 第33回全国公民館振興大会の宣言に基づき、次の事がらが迅速かつ確実に実現するよう熱望し、ここに決議する。
- 1 昭和60年度公民館施設整備費補助金「77億8,050万円」の確保。
 - 2 都道府県・市町村が実施する生涯教育事業費補助金「46億9,300万円」の確保。
 - 3 公民館長、主事の専門職制を確立し、かつ常勤専任体制の完全実施。
 - 4 地方交付税における、公民館費の算定基準を抜本的に改善し、測定単位費用の大幅増額。
- 右 決議する。
昭和59年11月29日

第33回全国公民館振興大会

学習の成果を

地域づくり

さる十月三日、同席の第十
三回新潟市公民館研究大会が
開かれ、研究主題「これからの
人権教育をどう進めるか」を
中心に、全市公民館関係者
四十名が研究協議を行った。
この大会には記念講演
の講師として立教大学の
岡本包治先生においで願
い、今春、余公連の第五
次専門委員会が答申した
「生涯教育時代に即応し
た公民館のあり方」を、
そのまな論題とする記念
講演をしていただいた。
岡本先生は余公連の第
二次専門委員会以来、続
けて専門委員として参加
され、第五次専門委員会
では副委員長として、答
申取りまとめの中心的
な役割を果たされた方だ
と、新潟市公民館研究大
会の記念講演でもされた方だ
に、記念講演は具体的な事例を豊富
にあげられ、わかりやすく、
参加者一同にわけて好評であ
った。

公民館番頭日記 (43)

この日の成人教育委員会
でも全体協議においても、男子
成人教育の重要性とむづかし
が特に強調されたが、地域生
活に根ざした、地域住民の生活
課題と取り組む公民館活動は、
ただ単なる男子成人教育のみ
の課題とは異なるのではないだ
ろうか。年頭にあたり各々の御
闘争を念じておまかせ。

この日の成人教育委員会
でも全体協議においても、男子
成人教育の重要性とむづかし
が特に強調されたが、地域生
活に根ざした、地域住民の生活
課題と取り組む公民館活動は、
ただ単なる男子成人教育のみ
の課題とは異なるのではないだ
ろうか。年頭にあたり各々の御
闘争を念じておまかせ。

新潟市公民館 参事兼事務局長 徳間助夫

別 公 民 館 数

(指定統計より)

分 館					(別掲) 移動公民館 (台)						公立小学校数と 公民館数との関係		区 分
市(区)	町	村	組合	法人	計	市(区)	町	村	組合	法人	公立小学校10校あたりの 公民館数 (本校) 公民館数		
2,419	3,429	1,148	—	2	456	136	254	65	—	1	23,588	7.30	全 国
80	162	4	—	—	22	4	17	1	—	—	1,802	3.06	北 海 道
89	75	31	—	—	38	6	20	12	—	—	509	7.43	青 森 県
50	47	30	—	—	16	2	7	7	—	—	508	7.56	岩 手 県
30	136	14	—	—	33	11	21	1	—	—	415	9.28	宮 城 県
55	301	42	—	—	11	1	10	—	—	—	349	17.02	秋 田 県
218	222	—	—	—	1	1	—	—	—	—	351	19.60	山 形 県
94	75	17	—	—	23	2	17	4	—	—	552	8.41	福 島 県
70	76	68	—	—	2	—	1	1	—	—	570	7.58	茨 城 県
34	16	—	—	—	11	5	6	—	—	—	438	4.75	栃 木 県
19	18	5	—	—	7	2	4	1	—	—	342	6.55	群 馬 県
20	53	22	—	—	7	3	2	2	—	—	782	6.50	埼 玉 県
35	17	3	—	—	19	16	3	—	—	—	763	3.60	千 葉 県
22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,382	0.53	東 京 都
19	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	771	1.95	神 奈 川 県
201	114	49	—	—	75	9	41	25	—	—	731	8.51	新 潟 県
3	11	13	—	—	—	—	—	—	—	—	255	13.61	富 山 県
2	41	12	—	—	10	—	9	1	—	—	294	11.12	石 川 県
9	14	5	—	—	11	8	3	—	—	—	224	9.69	福 井 県
60	269	65	—	—	1	—	1	—	—	—	220	27.77	山 梨 県
579	554	497	—	—	8	1	6	1	—	—	411	45.38	長 野 県
12	14	25	—	—	5	—	4	1	—	—	427	8.36	岐 阜 県
13	4	—	—	—	5	—	5	—	—	—	516	4.30	静 岡 県
72	19	11	—	—	2	1	—	1	—	—	941	4.37	愛 知 県
75	58	34	—	—	18	16	1	1	—	—	438	11.14	三 重 県
—	11	—	—	—	6	1	5	—	—	—	215	6.88	滋 賀 県
—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	457	3.11	京 都 府
65	—	—	—	1	2	1	1	—	—	—	990	2.15	大 阪 府
45	32	—	—	—	20	11	9	—	—	—	803	4.26	兵 庫 県
100	135	67	—	—	1	—	1	—	—	—	268	16.64	和 歌 山 県
15	131	27	—	—	2	—	1	1	—	—	327	11.44	和 歌 山 県
—	19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	164	11.83	鳥 取 県
13	27	11	—	—	—	—	—	—	—	—	304	10.46	鳥 取 県
78	190	6	—	—	2	1	1	—	—	—	464	10.93	岡 山 県
16	71	9	—	—	19	6	12	1	—	—	666	6.53	岡 山 県
4	25	4	—	—	2	2	—	—	—	—	376	6.91	山 口 県
39	125	17	—	—	1	—	1	—	—	—	278	13.24	徳 島 県
34	26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	210	9.95	香 川 県
21	120	13	—	—	6	1	5	—	—	—	404	11.73	愛 媛 県
21	24	26	—	—	2	—	1	1	—	—	340	7.38	高 知 県
4	8	1	—	1	14	9	4	—	—	1	750	5.07	福 岡 県
—	1	—	—	—	7	5	2	—	—	—	175	7.09	佐 賀 県
—	7	—	—	—	13	—	13	—	—	—	403	4.54	長 崎 県
19	77	—	—	—	11	—	10	1	—	—	502	5.76	熊 本 県
35	24	9	—	—	6	—	6	—	—	—	381	7.51	大 分 県
3	4	1	—	—	3	1	1	1	—	—	275	3.49	宮 崎 県
46	75	8	—	—	13	9	3	1	—	—	598	6.12	鹿 児 島 県
—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	247	1.42	沖 縄 県

全 国 の 設 置 者

区 分	計						本 館						計
	計	市(区)	町	村	組合	法人	計	市(区)	町	村	組合	法人	
全 国	17,222	7,285	7,938	1,971	1	27	10,224	4,866	4,509	823	1	25	6,998
北 海 道	552	159	370	23	—	—	306	79	208	19	—	—	246
青 森	378	140	154	84	—	—	183	51	79	53	—	—	195
岩 手	384	149	166	69	—	—	257	99	119	39	—	—	127
宮 城	385	96	273	16	—	—	205	66	137	2	—	—	180
秋 田	594	125	413	56	—	—	196	70	112	14	—	—	398
山 形	688	335	341	12	—	—	248	117	119	12	—	—	440
福 島	464	211	195	57	—	1	278	117	120	40	—	1	186
茨 城	432	145	175	112	—	—	218	75	99	44	—	—	214
栃 木	208	115	87	6	—	—	158	81	71	6	—	—	50
群 馬	224	120	60	44	—	—	182	101	42	39	—	—	42
埼 玉	508	325	139	43	—	1	413	305	86	21	—	1	95
千 葉	275	191	74	10	—	—	220	156	57	7	—	—	55
東 京	73	61	10	1	—	1	51	39	10	1	—	1	22
神 奈 川	150	122	26	2	—	—	130	103	25	2	—	—	20
新 潟	622	307	206	109	—	—	258	106	92	60	—	—	364
富 山	347	170	154	23	—	—	320	167	143	10	—	—	27
石 川	327	154	154	19	—	—	272	152	113	7	—	—	55
福 井	217	120	85	12	—	—	189	111	71	7	—	—	28
山 梨	611	113	406	92	—	—	217	53	137	27	—	—	394
長 野	1,865	676	619	570	—	—	235	97	65	73	—	—	1,630
岐 阜	357	123	155	74	—	5	306	111	141	49	—	5	51
静 岡	222	139	79	4	—	—	205	126	75	4	—	—	17
愛 知	411	282	112	17	—	—	309	210	93	6	—	—	102
三 重	488	218	208	60	—	2	321	143	150	26	—	2	167
滋 賀	148	77	70	1	—	—	137	77	59	1	—	—	11
京 都	142	56	85	1	—	—	142	56	85	1	—	—	—
大 阪	213	195	12	1	—	5	147	130	12	1	—	4	66
兵 庫	342	179	162	—	1	—	265	134	130	—	1	—	77
奈 良	446	174	179	93	—	—	144	74	44	26	—	—	302
和 歌 山	374	105	232	37	—	—	201	90	101	10	—	—	173
鳥 取	194	67	123	4	—	—	175	67	104	4	—	—	19
島 根	318	129	163	23	—	3	267	116	136	12	—	3	51
岡 山	507	203	289	15	—	—	233	125	99	9	—	—	274
広 島	435	179	239	17	—	—	339	163	168	8	—	—	96
山 口	260	132	116	12	—	—	227	128	91	8	—	—	33
徳 島	368	109	225	34	—	—	187	70	100	17	—	—	181
香 川	209	87	122	—	—	—	149	53	96	—	—	—	60
愛 媛	474	172	267	35	—	—	320	151	147	22	—	—	154
高 知	251	81	112	58	—	—	180	60	88	32	—	—	71
福 岡	380	248	107	17	—	8	366	244	99	16	—	7	14
佐 賀	124	71	47	6	—	—	123	71	46	6	—	—	1
長 崎	183	59	123	1	—	—	176	59	116	1	—	—	7
熊 本	289	72	185	32	—	—	193	53	108	32	—	—	96
大 分	286	131	134	21	—	—	218	96	110	12	—	—	68
宮 崎	96	46	45	5	—	—	88	43	41	4	—	—	8
鹿 児 島	366	110	229	26	—	1	237	67	154	18	—	1	129
沖 縄	35	7	11	17	—	—	33	7	11	15	—	—	2

新生公民館繁盛記 (43)

伝統事業に力点

町と地域のコンセンサスづくり



青海町東町地区公民館

「親不知、子不知」の名で知られる公民館としては、県に誇りうる、県境西端の青海町に、地区、近代的、機能的な派手な新館

が完成しました。それが青海町東町地区公民館です。この地区公民館は、昭和二十九年に消防団事務所併設して築きました。昭和三十一年、町最初の独立館として建設されました。木りす。町最初のチームを結成、造り書き障二二二平方メートル、階上十数年、健康にして、行動力のあるママさんとしての向上を計って一七平方メートルの小規模なものでしたが、当時は、他方面より羨望の的であられたものでした。また、活動面においても、たまたま、町の中心部に位置するにあつて、常にリタイア的な役割を果たして今日にいたっております。新館落成により、期待がより大きく、地域々々多様な新しい活動の輪を広げております。

また、当地区公民館は、開館以来、健全、融和、向上、を館運営の柱としてまいりました。三五〇年の歴史のある無形文化財「竹のからかひ」の正月十五日の行事を、保存会に全面協力しておこなひ、伝統行事の保存につとめております。その他各種スポーツも伝統的に盛く、恒例の地区公民館

公民館は花ざかり、これまでにすでに四十八館の公民館が登場。好評をいただいています。これからもどしどし紹介いたします。

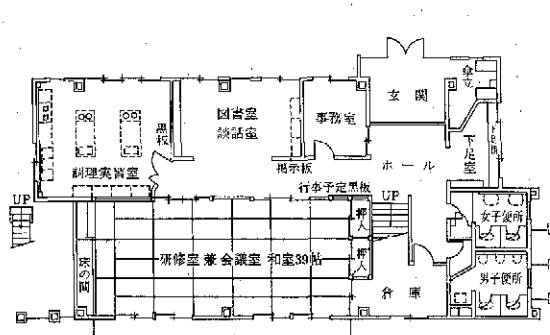


対抗大会も常に上位入賞し、今年度の町合併三十周年記念大会で、堂々優勝、面目躍如たるものの特筆すべきは、ママさんバレーボールである世代の育成を目標に、いまやわが町の公民館活動の活性化を計りたく思うものであります。(青海町東町地区公民館)

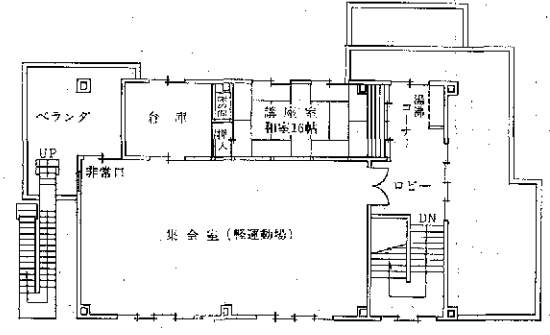
政経の中心でもありますので、町長を囲む会、町議と語る会、等を年中行事とし、町と地域、地域と町とのコンセンサスづくり、常に住民の意見交換を促すべく、気くほしております。

これからは、解放的親しみやすく、気からに利用できき茶の間として、喜ばれる館の活用と、教養文化の殿堂として、ますますの発展に寄与し、二十一世紀を迎える世代の育成を目標に、いまやわが町の公民館活動の活性化を計りたく思うものであります。

一階平面図



二階平面図



老いて学ばば寿(いのちなが)し

小柳和子



「老いて学ばば寿(いのちなが)し」これは近年、長岡技術大学の長川士生氏の「三志西條全訳」の余話に於ける川上氏のことである。この本は江戸時代の儒学者佐藤一斎の「言志西條」を川上氏が工学研究のかたわら全訳を成しあげられたものである。私の山広の戯見に懸せられ、大の近居縁には「学ばばばすなわち切な書物の一冊として傍に置いて」

私は今、社会教育の一端に身を置ける。私どもは何才もが少、世、老いながら、年々高齢化が進む中で、公民館の果たす役割の大きさを痛感している。私が住む新潟市坂井輪地区は人口八万人をかかえ、地区公民館は自主グループが七十余、毎日館内と外を歩くと利便性がある。その道案内をしてくれるのが公民館である。われわれ職員は地区住民の欲求、関心をは握り、それが公民館活動、事業、反響するよう、その役割の重さを感ずる。今、(新潟市坂井輪地区公民館職員)小柳和子

公 振 連 受 賞 の 記



新潟市石山地区公民館長
高野昭彦

この度は、はからずも県国民館振興大会の席上で、社会公連の御推薦により、全教育法施行三十五周年記念功労者の一人として表彰を受

員として、この上ない名誉なことと感激しております。私のような者を該当者として御推挙くださいます。大原公連の会長をはじめ関係者の皆様の御厚情と御支援に対し心から御礼申し上げます。

今回の受賞は、私にとって全く予期しない出来事であり、身に余る光栄に當りつつも、果たして私がそのような賞を受賞してよいものか、県公連のために特別な貢献をしたわけでもない、これら

公民館の仕事をしなかつたか、誤り、この道に足を踏み入れてからもう二十年を超えてしまいました。その間数多くのすべた知識や同僚に聞かれ、御指導や御協力をしてきたことが夢中で仕事をし

う実績もないのに功労賞をいただく来たというが本意です。長いのが取柄、今回の受賞の理由も恐らく賞状の文句にある「多年にわたる……」というあたりから、該当するものと考えています。そしてまた、受賞を機にしてもう少し力を尽くせようという関係者の皆様の無言の激励の意味とも考え、御期待にそうように努力して行きたいと奮起を新たにしているつもりであります。

※ ※

プロフィール

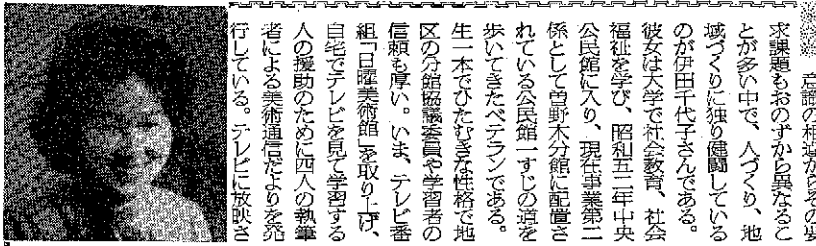
新潟市曾野木公民館
社会教育主事 伊田千代子さん

曾野木公民館は、地区の人口二、九五〇人、昭和四五年田圃地帯に曾野木同地帯が造成されて急激に都市化した地域にある。ここは旧郡部と新興住宅地で構成されており、住民意識の相違からその要求も異なることが多い中で、人づかり、地域づかりに張り付いているのが伊田千代子さんである。

彼女は今年で社会教育、社会福祉を学び、昭和五二年中央公民館に入り、現在事業第二係として曾野木公民館に配置されている。公民館一すじの道を歩いてきたベテランである。

生一本でひたひたな性格で地区の分館職員や学習者の信頼も厚い。いま、テレビ番組「日曜美術館」を取り上げ、自宅テレビを見て学習する人の援助のために四人の執筆による美術通信たよりを発行している。テレビに放映されているのか、あるいは公民館を愛し、仕事に魅力を感じてきたか、未だ独身。ますますの精進を期している。

(新潟市中央公民館 館長補佐 竹下みい)



茶の湯で好まれる花に大和芙蓉という花がある。夏から秋にかけて大輪の真っ白な花を開くが、清純で気品があるので青磁とか古銅のような貴の花生に一種は入れると格調があつて美しい。彼女は正にこの花のイメージだと思ふ。もの静かなうたげの中に一本筋がびんと通つた左風な雰囲気があつて、しかも現代的な華やかさも併せ持っている。その静寂とした感じに男性を近寄りたがいのものにしてゐるのか、あるいは公民館を愛し、仕事に魅力を感じてきたか、未だ独身。ますますの精進を期している。

